

令和7年度 市川市立大和田小学校の教育

【学校教育目標】

「夢の実現へ めあてをもって 自ら学ぶ子」を育成する
— 街とともに伸びる「大和田の子」 —

「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念として教育の振興を図る

めざす子どもの姿

- ・自ら学び、認め合って高めよう
- ・みんなと仲よく、協力し合って、楽しい学校生活を送ろう
- ・目標をもち、やりぬくたくましい身体をつくろう

めざす教職員の姿

- ・子ども一人一人を認め、温かい人間関係を築く教職員
- ・保護者の思いや願いを受け止め、信頼される教職員
- ・専門性を高め、指導力の向上を図る教職員
- ・心身とも健康で、人間性豊かな教職員

めざす学校の姿

- ・夢のある楽しい学校
- ・質の高い教育の実現をめざす学校
- ・安全で安心して過ごせる学校
- ・地域に根ざした開かれた学校

【経営重点】

重点目標 人とのつながり

— 子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進 —

- | | | |
|----------------------|----------------------------|--------------------|
| ・探究的な学びの推進 | 個別最適な学び | 協働的な学び |
| | 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 | |
| ・確かな学力の育成 | 言語能力の育成 | 意図的、計画的な図書館活用や交流活動 |
| ・豊かな心の育成 | 人権教育・道徳活動の充実 | 自己肯定感・自己有用感の育成 |
| | 体験活動、交流活動、読書活動の充実 | |
| | 生徒指導の機能を活かした授業の推進 | |
| ・健やかな体の育成 | 望ましい生活習慣を身に付ける取り組みの推進 | 食育の推進 |
| | 運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育授業の充実 | |
| | 運動遊びの奨励 自ら進んで健康に生きるために環境整備 | |
| ・社会の変化に対応できる資質・能力の育成 | 他者と協働できる力 | 生きる力 |

— 学びの質の向上と学びの保障の実現 —

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ・指導体制・教育環境の整備 | 教職員の指導力の向上（校内研究・研修の推進） |
| | 安全・安心で質の高い教育環境 働き方改革の推進 |
| | 支え合うチームワーク、組織力の向上 |
| ・学習用端末の活用推進 | 児童・生徒の情報活用能力の向上 |
| ・多様な教育ニーズへの対応 | 特別支援教育の推進 不登校児童への対応 |

— ともに支えあう学びの環境整備 —

- | | |
|--------------------|-------------------|
| ・生涯にわたる学びの推進 | 図書館機能を活用した学習活動の充実 |
| ・家庭・学校・地域の連携と協働の推進 | 地域の教育資源の活用 |

経営重点の具体的な方針

一子どもたち一人ひとりの可能性を引き出す教育の推進　一

① 探究的な学びの推進

- ・日々の授業を通して、子ども達がめあてをもって、自ら主体的に学び続ける力を育む
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
- ・子どもが課題を発見し、その解決に向けて他者と協働しながら取り組む

② 確かな学力の育成

- ・言語能力の育成　・「認め合う力」の一層の育成を図る
- ・言語活動・読書活動・交流活動の充実
- ・朝読書の時間を日課に位置付けるとともに、読書月間、読み聞かせ（子ども同士）、ボランティアサークルによる読み聞かせの充実を図り、読書好きの子どもを育てる
- ・意図的、計画的に図書館（読書、情報）活用や交流活動をすることで、学ぶ意欲を高める。
- ・宿題、音読、家読（うちどく）、自主学習ノート、ジャストドリル、タブレットを活用した振り返り学習等を意図的・計画的に行う。

③ 豊かな心の育成

- ・道徳教育、人権教育、命を大切にする意識を育む教育活動の充実
- ・生徒指導の機能を活かした授業の推進
- ・「自己存在感」「自己決定の場」のある授業、「共感的な人間関係」を育てる授業を目指す
- ・いじめ、暴力行為、児童虐待等の早期発見、早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を図りながら根絶に向けた取り組みを進める 生活アンケートの実施〔6月・11月〕
- ・児童の内面に根ざした道徳性の育成を図るとともに、心に響く道徳授業の充実に努める
- ・異年齢交流、異世代交流（仲良し学年、幼稚園、保育園、中学校、地域の方、保護者等）を計画的に実施し、豊かな人間関係づくりを進める

④ 健やかな体の育成

- ・どの子も運動の楽しさや喜びを味わうことのできる体育の授業の充実を図る。
(学年の発達段階に応じた指導内容の整理・個々に合わせた目標の設定)
- ・運動やスポーツに親しむ機会の充実と体育以外の運動遊びを奨励する環境の整備
- ・新体力テストなどで実態を把握し、体力向上に向けて計画的に進めていく
- ・「遊・友スポーツランキングしば」へ参加するなど、めあてを持って取り組む
- ・子どもたちの自主的な運動習慣作りに向け、体育委員会等の取り組みを充実する
- ・授業や給食を通じて児童が健康と食事について考え、実践できるような食育指導の充実を図る
- ・望ましい生活習慣を身に付ける取り組みの推進（ヘルシーチェックカード、保健委員会等）
- ・心身の健康を自ら保持増進するために必要な能力・態度を育成する
〔手洗い、換気など日常生活での感染予防の実践と習慣化を図る〕
- ・子どもが自らの生活を見直し、改善していこうとする態度を育てるとともに、家庭への啓発活動を進める

⑤ 社会の変化に対応できる資質・能力の育成（生きる力の育成）

- ・子ども一人ひとりが自分らしい生き方を実現していくキャリア発達を促進するために、社会的、職業的な自立に向けて必要となる基礎的な能力や態度を育てる
- ・他者と協働できる力や外国語によるコミュニケーション能力を育み、グローバルな視点を持ち、地域でも国際社会でも活躍できる人材を育成する

— 学びの質の向上と学びの保障の実現 —

① 指導体制・教育環境の整備

- ・授業研究を中心とした校内研究や研修を推進し、教員の指導力の向上を図る
- ・安全・安心で質の高い教育環境
- ・食物アレルギーへの対応について全職員で周知徹底を図る
- ・安全点検、安全な遊具の使い方の徹底、危険予知及び回避能力の育成等けがの防止に努める
- ・働き方改革の推進（行事の精選、児童と向き合う時間の確保）
- ・支え合うチームワーク、組織力の向上、教科担任制の推進

② 学習用端末の活用推進

- ・児童・生徒の情報活用能力の向上
- ・多様な子供たちが個性にあった学び方ができるよう、ICT機器を活用できる環境を整える
- ・教職員の活用能力の向上

③ 多様な教育ニーズへの対応

- ・特別支援教育の推進を図るため、通常学級における配慮を要する子どもについての共通理解を図り、全校体制を整える
- ・保護者の希望による申し出を受け、「市川スマイルプラン」の整備を図る
- ・専門機関との連携を図り、指導や助言をもとに指導の改善や研修会の充実を図る
- ・不登校児童やその保護者に丁寧に寄り添い、個々の自走の状況や将来を見据えて、必要な支援や校内環境を充実させる。
- ・校内教育支援センター（SSR）をしっかりと機能させるために校内体制を確立し、教職員の連携を図る

— ともに支えあう学びの環境整備 —

① 生涯にわたる学びの推進

- ・図書館機能を活用した学習活動の充実

② 家庭・学校・地域の連携と協働の推進

- ・登下校時の教職員、保護者、地域の方々による交通安全指導、あいさつ声かけ、パトロール等を継続して実施し、子どもの安全確保を図る
- ・各種たより、ホームページ、メール配信システム等の内容の充実を図り、学校教育への理解を深める
- ・学習参観、オープンスクールの推進を図る
- ・創意と活力のある学校づくり推進計画に基づき、児童、保護者学校評価アンケート結果を見ながら学校改善に活かす。
- ・学校運営協議会を核とした保護者、地域の方々との連携
- ・懇談会、個人面談、連絡帳、電話連絡等を通して、保護者の要望や意見には耳をかたむけ、誠実に迅速に組織で対応する
- ・地域の教育資源の活用